

商学部における特色ある学部教育の補助「見学調査」 報告書

テーマ：「多文化の交差点・横浜～舶来の食文化」

科目名：ベーシック演習Ⅰ・Ⅱ

担当教員：小田 悠生

調査先：横浜開港資料館

調査日：2025年10月25日(土)

参加学生数：1年生 8名 2年生 名 3年生 名 4年生 名

調査の趣旨（目的）

本ベーシック演習では春学期より、世界遺産、歴史の記憶、ツーリズムについて学んできた。秋学期はPBL形式のグループプロジェクトとして、関東各所の歴史について深く学ぶことのできる歴史ツアーを、日本語と英語の両方で企画・立案・実施するという課題に取り組んでいる。今回は「多文化の交差点・横浜～舶来の食文化」をテーマとしたグループプロジェクトの一環として見学調査を行った。

調査結果

本調査では幕末以来、国際都市・貿易港として発展してきた横浜の歴史を、食文化の観点から掘り下げるツアーを企画・立案するための調査を行なった。旧イギリス領事館の建物である横浜開港資料館では、さまざまな古地図と現在の地図を見比べながら、山手・中華街・官庁街・税関・倉庫街といったエリアが、歴史的にどのように形成されてきたのか学んだ。その上で、外国人居留区を背景としたパン食文化、華僑による中華街形成とエスニックビジネスとしての中華料理店、太平洋航海・海外旅行の歴史と船上食について調べた。

